

# 校内研修を組織的・計画的に推進していくために

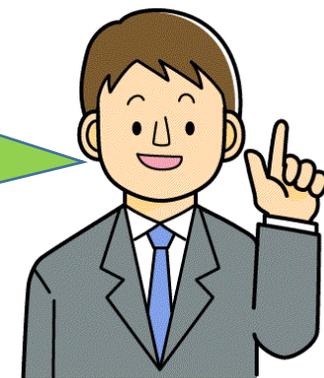
※この資料は、平成30年5月23日に行われた「『確かな学力』向上推進協議会Ⅰ」において使用した資料を基に作成しています。

秋田県教育庁南教育事務所

# ① 目指す子どもの姿

- 学校の教育目標、児童生徒の実態、昨年度の検証結果、自校の課題等を踏まえている
- 使用する言葉の意味の共通理解を図り、具体的なイメージを全教職員で共有している

目指す姿を常に意識できるような手立てを考えていくことも大切です。



## ② 【Plan】 研究主題

### 研究主題が備えるべき条件

#### ア 研究のねらい

研究の目指す方向、目標や価値の追究の方向

#### イ 研究の内容

研究の分野や領域

#### ウ 研究の方法

課題解決に向けた手立て

## ② 【Plan】 研究主題

### 研究主題の検討例

### 「個人の知」を「組織の知」へ

「主体性の育成」

（主体性って何？）



「主体的な学習態度の育成」

（何を研究する？）



「主体的な学習態度を育てる学習過程の研究」

（どうやって育てる？）

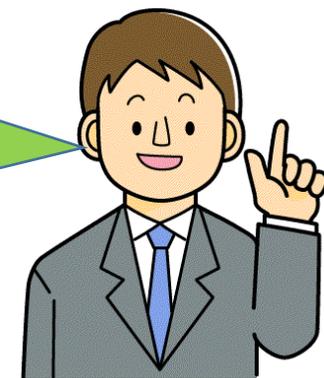


「主体的な学習態度を育てる学習課題の設定の工夫」

## ② 【Plan】 研究主題

- 自校の課題の解決や目指す子どもの姿の実現につながる主題となっている
- 研究の目的や内容、方法が明確に位置付けられ、課題意識を共有できる

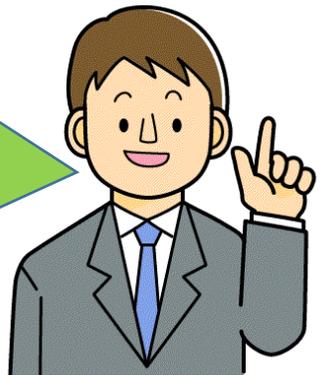
ワークショップなどを活用し、共通理解を図ることも大切です。



## ② 【Plan】 研究の仮説

- 目指す子どもの姿に対応し、具体化した研究の内容や方法が見えるものになっている

学習過程の改善（どのように学ぶか）に関するだけでなく、目標や内容（何を学ぶか）に関する研究主題や仮説を設定することも考えられます。



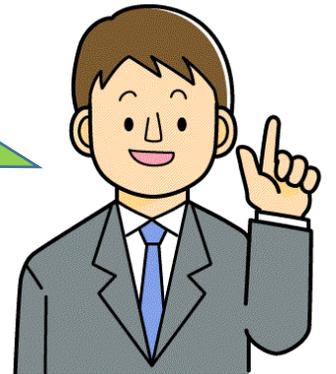
## ② 【Plan】 研究の仮説

「……自分の考えを伝え、考えを深める力を育てることができるであろう。」



- 自分の考えについて理由や根拠を明らかにして話す
- 話し手の意図を捉え、自分の考えと比べながら聞く等

検証の結果を反映することのない形だけの仮説にならないようにすることも大切です。



### ③ 【Do】 研究の重点と具体的な手立て

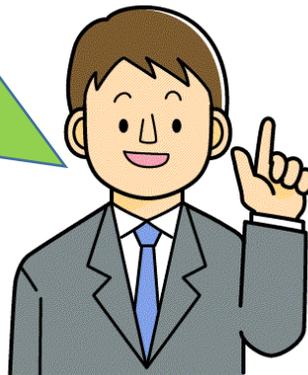
- 自校の課題や研究の仮説を受け、研究の重点が更に具体化したものになっている

説明する力が不足している



(例)対話の過程の可視化

自校の課題の要因の分析も大切にしましょう。



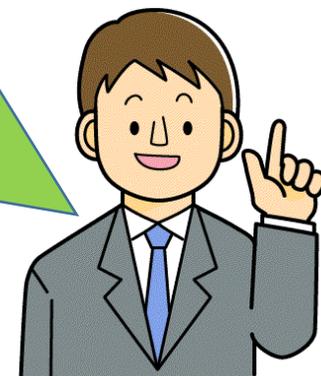
### ③ 【Do】 研究の重点と具体的な手立て

- 研究の重点と具体的な手立ての整合が図られている
- 全教職員が共有し、継続して取り組めるものとなっている
- 妥当性や信頼性のある検証が可能な手立てになっている

### ③ 【Do】 研究の重点と具体的な手立て

- 焦点化を図り全教職員で取り組める
- 何をするのか具体が見える

全教職員が共有  
できる手立てに  
することが大切  
です。



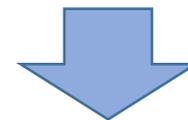
### ③ 【Do】 研究の重点と具体的な手立て

ホワイトボードを用いた話し合い



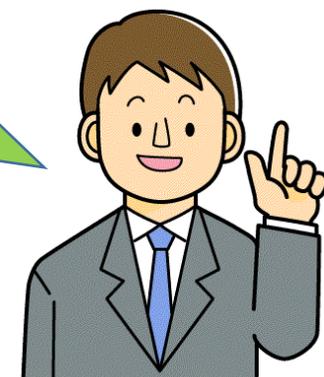
効果的に活用するには…

思考ツールを用いた話し合い



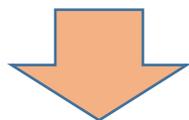
ベン図？クラゲチャート？

どこまで自由度をもたせた手立てを設定すべきかを考えましょう。



### ③ 【Do】 研究の重点と具体的な手立て

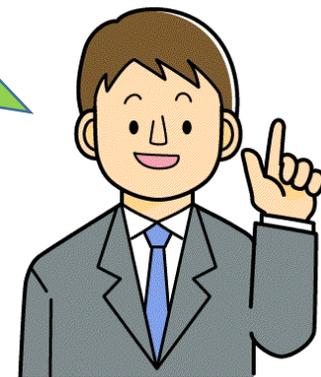
「対話的な学びの充実」



「話し方・聴き方」の型の活用

もう一步踏み込んだ手立ては…

日々成長する子どもたちに対しては、具体的な手立ても変わっていきます。

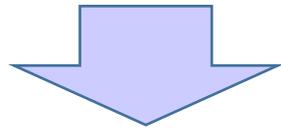


## ④ 【Check】 実現状況の把握

- 誰が評価しても同じ結果が得られる方法となっている
- 目指す子どもの姿や育成を目指す資質・能力の実現状況を把握できるものになっており、妥当性が高い
- 判断する根拠が明確であり、信頼性が高い

## ④ 【Check】 実現状況の把握（判断の基準）

- 検証結果を多面的に分析し、総合的に捉えることが可能になっている



量的に検証する

質的に検証する

検証方法を組み合わせることによって、  
評価の信頼性を確保します。



## ④ 【Check】 実現状況の把握

### 評価方法【例 1】 自己評価を利用して

Q 1 思っていることを友達に上手に伝える

Q 2 自分の考えを整理しながら文章で表現できる

☆ ◎ ○ △

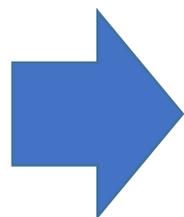
\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

信頼性が低くならないようにすることが大切です。

※ 主に表現力に関する項目

「上手に」



「順序よく」、「理由を付けて」

## ④ 【Check】 実現状況の把握

### 評価方法【例2】 ルーブリック表を活用して

[小学校 社会科]

段階	具体的な子どもの姿	実際の授業の中での具体的な表現例
1	社会事象について、共通するところや違うところに気付くことができず、表現することができない。	スーパーマーケットには、お総菜や魚、肉などが売られていました。
2	社会的事象について、共通するところや違うところを指摘し、表現している。	スーパーマーケットには、お総菜にも魚にも、肉にも消費期限が表示されています。
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
5		

## ④ 【Check】 実現状況の把握

検証の時期を吟味することも大切です。  
例えば、取組の前後で、同じ検証方法を用いて比較すると、実践の効果が明らかになります。



## ⑤ 【Action】 改善の計画

- 整理した課題を検討し、その要因を明らかにするための手立が取られている
- 明らかとなった要因を基に、研究の仮説・研究内容や方法の修正を行う仕組みがある
- 改善案を検討・決定する際に、多くの教職員の考えを反映させる仕組みがある

## ⑤ 【Action】 改善の計画

特に＜短期＞による改善の計画が研究推進に大きく関わってきます。  
例えば、概ね良好と判断できなかったとき、その原因がどこにあるのか、この取組を続けるべきか、やめる・修正するべきかを短期のPDCAサイクルを機能させ、考えることが大切です。

